

たそがれ酒場 (1955)

メディア 映画

ジャンル ドラマ サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

時間 94分

初公開日 1955/06/19

【解説】

新人の灘千造によるオリジナル脚本を内田吐夢が監督した。豪華キャストが次々に登場する、いわゆる「グランドホテル方式」で作られた作品。2003年には「いつかA列車（トレイン）に乗って」というタイトルで、舞台を現代に移したりリメイク版が製作された。

「たそがれ酒場」には数多くの客が訪れる。「先生」こと梅田はかつて画伯だったが、今はパチンコで整形を立て店に入り浸っている。専属ピアニストである江藤の伴奏に乗って、バリトン歌手の丸山や女給のユキが歌っている。岐部は元上官の鬼塚と再会し酒を酌み交わし、学生たちは大声でサルトルを論じている。ユキを付け狙う愚連隊の森本が訪れるが、彼女の恋人である鱒見に脅され手を引くことを誓う。こうして「たそがれ酒場」の夜は更けていく…。

【クレジット】

監督 内田吐夢

製作 栄田清一郎

脚本 灘千造

撮影 西垣六郎

美術 伊藤寿一

編集 笠間秀雄

音楽 芥川也寸志

助監督 三輪彰

下村堯二

高橋繁男

山際永三

出演 小杉勇

梅田茂一郎

小野比呂志

江藤鉦也

宮原卓也

丸山健一

有馬是馬

谷口幸三

多々良純

汲島鉄夫

野添ひとみ

野口ユキ

津島恵子

エミー・ローザ

高田稔

中小路龍介

東野英治郎

鬼塚

加東大介

岐部

丹波哲郎 Tetsuro Tamba

森本

宇津井健

鱒見

江川宇礼雄

山口

中村彰
岡崎夏子
児玉一郎
江見渉
天知茂
生方賢一郎
武村新
岬洋二
加藤章
山川朔太郎
鈴木光枝

多賀
年輩の男の二号
講師